

令和 7 年度 九州八県赤十字大会 開催

令和 7 年 11 月 13 日(木)日本赤十字社名誉副総裁 三笠宮寛仁親王妃信子殿下のご臨席を賜り、鹿児島市民文化ホールにおいて、令和 7 年度九州八県赤十字大会が開催されました。沖縄県からは受章者 5 名をはじめ有功会会員、奉仕団員、地区区分職員など総勢 27 名が参加しました。



【受章者】

金色有功章（個人） 山川 潤子様（最前列左から 4 番目）
社長感謝状（個人） 糸嶺 篤秀様（右から 2 番目）
社長感謝状（法人） (有)沖縄小堀電機 様（最前列左から 2 番目）
沖縄綿久寝具(株) 様〈有功会会員〉（同 3 番目）
(株)大保商事 様〈有功会会員〉（同 5 番目）

～赤十字へのご支援、誠にありがとうございます～

第 7 回おきなわ建設フェスタに参加しました

令和 7 年 11 月 9 日（日）、第 7 回おきなわ建設フェスタが開催され、会場内に赤十字のブースを出展させていただきました。

日本赤十字社沖縄県支部のブースでは、親子向けに AED 体験と災害トイレ体験を行い、多くの来場者に体験いただきました。



赤十字ブースの様子



練習用人形を使用した AED 体験

赤十字の防災教育



近年頻発する大規模地震や大雨災害などから人々の命を守るためには、災害が起きる前に自分自身の身を守る「自助」と地域のコミュニティにおける「共助」の力を高めることが極めて重要となっています。

日本赤十字社沖縄県支部では、「いざ」という時の備えのための「赤十字防災セミナー」に力を入れています。令和6年度は4～9月末までに開催回数26回、のべ1,130名の皆さまに受講いただいています！

ひなんじょたいけん（避難所運営ゲーム）

避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練です。専用のカード等を用いてグループワークを行います。

避難者の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験していきます。



令和7年7月28日、八重瀬町役場の職員を対象に「ひなんじょたいけん」を行いました。

KAG（家具安全対策ゲーム）

自宅の部屋の平面図などを作成し、大地震が起きた時に潜む危険な箇所を探すことで、家具のキケンなどに目を向けてもらい、家庭での防災意識の向上につながるプログラムです。

このプログラムでは、いざという時のための備えなどについて、親子やグループで交流を行いながら楽しく学びます。ここでの気づきをご自宅に持ち帰っていただくことで、防災・減災への行動につなげていきます。



令和7年10月30日、西原町にある学童の職員向けにKAG(家具安全対策ゲーム)を実施しました。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！

災害時の危険（場所・行動）について伝え、自分の身を守るための基礎的な知識や判断力を身に付けてもらうため、4歳以上の子どもたちが学べるように赤十字が作成した教材です。

身近な教室や町の様子が描かれたイラストの中から、子どもたち自身で、危険な場所を探していきます。「この人あぶないよ！」「ぼくだったらこうするよ！」といった活発な意見が飛び交います。



令和7年7月24日、児童くらぶの小学生向けに防災教室を実施しました。

日赤沖縄県支部では、防災教育事業のほかにも「人間の命と健康・尊厳」を守るための活動に日々取り組んでおります。皆様からのご支援を何卒お願いいたします。